

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040101010100		事業の種類	5	
年度	25	事務事業名	企業誘致事業		予算事業名	優先度	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	企画総務部企画広報課		
施策名(中)		特色ある産業を支援する		担当課長	松尾 次郎	担当者名	炭田 哲也
取組み事項		企業立地を促進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市企業立地促進条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民の雇用創出					
	誰(何)を対象として	新規産業等の設置者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	新規産業の導入及び住宅地内に点在する既存存企業の移転の促進を行うことにより、雇用の拡大、市民所得の向上、固定資産税等の安定自己財源の確保をする。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		新規産業の導入及び住宅地内に点在する既存存企業の移転の促進を行うことにより、雇用の拡大、市民所得の向上、固定資産税等の安定自己財源の確保をする。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	助成件数	件	0	0	0	1	
	誘致件数	件	0	0	0	1	

## 3 投入資源

		会計区分	事業費単位:円						
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.140	0.072	51	0.064	89	0.036	56	
	臨時職員	0.020	0.020	100	0.020	100	0.000	0	
支出内訳	人件費	1,467,624	911,124	62	858,118	94	613,305	71	
	事業費			-		-		-	
	合計	1,467,624	911,124	62	858,118	94	613,305	71	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,467,624	911,124	62	858,118	94	613,305	71	
合計	1,467,624	911,124	62	858,118	94	613,305	71		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		誘致件数							
指標説明(式)		企業立地促進条例による助成(固定資産相当額の助成、新規雇用者への助成、土地取得への助成)対象企業の誘致件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	1	1	100.0	1	100.0	1	100.0	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2		企業誘致等の問い合わせ件数							
指標説明(式)		市内への企業進出や商業系施設の進出に向けた土地情報等の問い合わせ件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	5	5	100.0	5	100.0	5	100.0	
	実績	5	1	20.0	4	400.0			

【効率性】

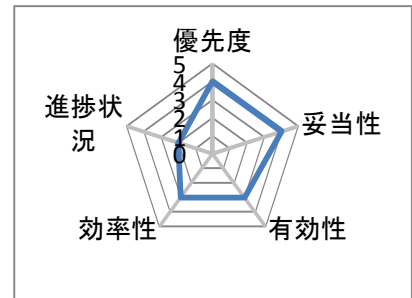
指標名1		1事業者当り助成額(千円)							
指標説明(式)		総助成額÷助成事業者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	0	0	-	0	-	-	-	
	実績	0	0	-	0	-	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	1年間に数件の問い合わせがあるが、広大な土地の要求などニーズと合致しないことが多く、新たな進出には結びついていない。	3
効率性	負担割合の適正化	企業立地に関する助成額及び期間については、他市と比較しても妥当である。	3
	手段の最適性	助成制度については、企業が進出するうえで要件のひとつにはなるので、制度整備を行っている事は手段として最適である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	実際の誘致に結び付いていないという結果から進んでいない。	2

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	グループ会社や子会社化など様々な形態での企業進出に対してもサポートできる体制が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	条例も含めたなかで対応を検討する必要がある。

配点	32.5
総合評価	22

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040101010200	事業の種類	3
年度	25	事務事業名	特定用地管理委託事業	予算事業名	特定用地管理委託事業
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち	担当部局名	企画総務部企画広報課	
施策名(中)		特色ある産業を支援する	担当課長	松尾 次郎	担当者名 炭田 哲也
取組み事項		企業立地を促進する	実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	兵庫県企業庁及び用地管理受託者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	県等との連携を強化し、特定用地を生かし企業立地を促進し、雇用の拡大をする。			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		兵庫県企業庁及び各自治会との矢野・若狭野の特定用地の管理委託業務を行う。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	報告件数(1ヵ月3回の1年)	件数	36	36	36	36
	報告による現地調査	件数	8	4	0	0

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.008	0.048	600	0.068	142	0.052	76	
	臨時職員	0.040	0.048	120	0.048	100	0.020	42	
支出内訳	人件費	472,424	793,032	168	957,214	121	792,341	83	
	事業費	351,000	343,000	98	335,000	98	382,000	114	
	合計	823,424	1,136,032	138	1,292,214	114	1,174,341	91	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	351,000	343,000	98	335,000	98	382,000	114	
	一般財源	472,424	793,032	168	957,214	121	792,341	83	
合計	823,424	1,136,032	138	1,292,214	114	1,174,341	91		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		特定用地利用率							
指標説明(式)		利用面積÷全体面積							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
率	目標	0	0	-	0	-	0	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

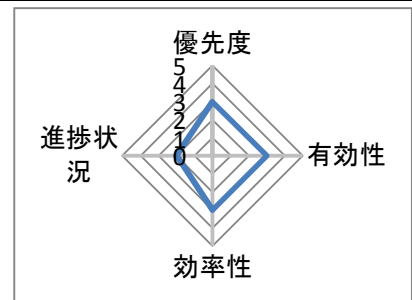
指標名1		1ha当たり管理コスト							
指標説明(式)		総事業費÷面積(256ha)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	-	-	-	4,949	-	4462	90.2	
	実績	3,216	4,437	138.0	5048	113.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	播磨科学公園都市内の企業用地が残っており、相生市の特定用地を開発する動きはない。	3
	組織運営・適正管理	用地管理については適正に行われている。	
効率性	手段の最適性	兵庫県から受託し、各自治会(若狭野町西後明、矢野町二木、矢野町真広、矢野町下田)へ委託している。	3
	執行体制の効率性	災害等があった場合の効率性からみると、企業庁と自治会とが直接管理契約を結ぶほうが迅速に対応できる。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	管理業務としては問題ないが、特定用地の利用を考えると進捗はしていない状況である。	2

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	災害時等に迅速な対応が行えるよう企業庁との協議が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	引き続き、報告すべき事由が発生した際には各自治会と連携し、企業庁へ迅速な対応を要請する。

配点	25
総合評価	14

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040102010100	事業の種類	5
年度	25	事務事業名	就労促進事業	予算事業名	就労促進事業
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課
施策名(中)		就労環境の充実を図る		担当課長	三宅 淳一
取組み事項		技能・技術の習得と雇用情報の提供を図る		担当者名	桑名 雅彦
実施計画事業名		実施計画への記載		無	主要事業の指定
根拠法規及び関連法規		雇用対策法			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の求職者、職業訓練希望者			
	誰(何)を対象として	市内の求職者、職業訓練希望者の技能・技術習得に対するニーズ			
	意図(どのような状態にしたいのか)	雇用の安定・労働力の確保、企業間の雇用の需要調整・労務改善を図る。			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		雇用開発協会・職業訓練校への補助				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	兵庫県雇用開発協会	円	100000	100000	100000	100000
	相生雇用開発協会	円	80000	80000	80000	80000
	西播建設高等技能学校	円	50000	50000	50000	50000
	兵庫土建姫路建築技能専門学院	円	50000	50000	50000	50000

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.028	0.028	100	0.028	100	0.056	200	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	536,444	523,208	98	532,566	102	773,925	145	
	事業費	280,000	280,000	100	280,000	100	280,000	100	
	合計	816,444	803,208	98	812,566	101	1,053,925	130	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	816,444	803,208	98	812,566	101	1,053,925	130	
	合計	816,444	803,208	98	812,566	101	1,053,925	130	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		相生雇用開発協会開催のセミナー受講者数							
指標説明(式)		受講者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	40	50	125.0	50	100.0	50	100.0	
	実績	100	61	61.0	49	80.3			
指標名2		西播建設高等技能学校・兵庫土建姫路建築技能専門学院の生徒数(相生市事業所・相生市在住者)							
指標説明(式)		生徒数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2	2	100.0	2	100.0	2	100.0	
	実績	2	2	100.0	2	100.0			

【効率性】

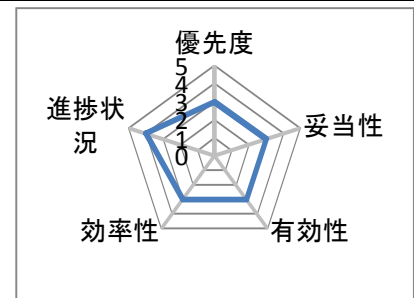
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	労働者の知識・技能習得の場であり、効果的な運営を望む	3
効率性	負担割合の適正化	雇用協会は、須負担ルールに沿って補助を行っている。職業訓練は近隣市町も補助を行っており、相生市民の利用者・会員数などから負担割合の適正化を図っている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	事業は計画どおり進んでいる。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	負担割合の適正化	相生市民の参加が少ない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	関係団体に事業の周知を図る。

配点	32.5
総合評価	20.5

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040102010200	事業の種類	1
年度	25	事務事業名	高齢者雇用促進整備事業	予算事業名	高齢者雇用促進整備事業 優先度 3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名 市民生活部地域振興課	
施策名(中)		就労環境の充実を図る		担当課長	三宅 淳一
取組み事項		技能・技術の習得と雇用情報の提供を図る		担当者名	桑名 雅彦
実施計画事業名		実施計画への記載		無	主要事業の指定 無
根拠法規及び関連法規		相生市高齢者雇用促進整備基金条例			
事業の目的	誰のために(具体的に)	就労を希望する高齢者			
	誰(何)を対象として	就労を希望する高齢者の就労環境			
	意図(どのような状態にしたいのか)	基金を造成し、原資の積立てを行うことにより、高齢者の雇用促進整備事業に要する経費に充てる。			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		高齢者の雇用促進整備事業に要する経費に充てるため、利息を基金へ積み立てる。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	積立金	円	96312	96270	96227	84100

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.016	0.020	125	0.020	100	0.032	160	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	441,704	461,416	104	471,070	102	581,181	123	
	事業費	96,312	96,270	100	96,227	100	85,000	88	
	合計	538,016	557,686	104	567,297	102	666,181	117	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	538,016	557,686	104	567,297	102	666,181	117	
合計	538,016	557,686	104	567,297	102	666,181	117		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		積立金							
指標説明(式)		積立金							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	84000	84000	100.0	84000	100.0	84100	100.1	
	実績	96312	96270	100.0	96227	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

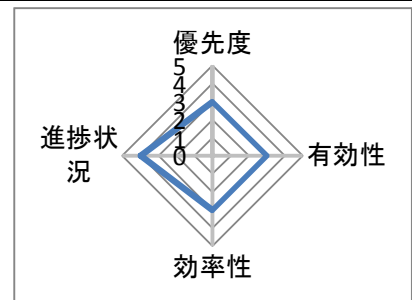
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	高齢者の雇用促進整備(シルバー人材センター)の施設整備のための基金であり、高齢者の雇用促進に繋がるものである。	3
効率性	手段の最適性	原資はシルバー人材センターの資金であるが、高齢者の雇用促進の観点から公共性が高いものと認め、市の基金としている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	長期に亘る低金利状況により、基金の積立てが低調である。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	28年度に現地にて、施設の建て替え予定



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	25
総合評価	16



# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040102020100		事業の種類	5		
年度	25	事務事業名	労働者福祉事業		予算事業名	労働者福祉事業		
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)		就労環境の充実を図る		担当課長	三宅 淳一		担当者名	桑名 雅彦
取組み事項		勤労者の生きがいづくりを推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		市補助金交付要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	労働者(相生労働者福祉協議会)						
	誰(何)を対象として	労働者(相生労働者福祉協議会)						
	意図(どのような状態にしたいのか)	労働者福祉活動向上のため						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		相生労働者福祉協議会が行うクリーン作戦、学習会、福祉研修会、女性の集い、メーデー等への補助						
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画		
	労福協補助金	円	684000	684000	684000	684000		

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.016	0.016	100	0.016	100	0.020	125	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	441,704	430,520	97	440,322	102	484,809	110	
	事業費	2,048,340	684,000	33	684,000	100	684,000	100	
	合計	2,490,044	1,114,520	45	1,124,322	101	1,168,809	104	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,490,044	1,114,520	45	1,124,322	101	1,168,809	104	
合計	2,490,044	1,114,520	45	1,124,322	101	1,168,809	104		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		クリーン活動、学習会等参加者							
指標説明(式)		人数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	300	300	100.0	300	100.0	300	100.0	
	実績	182	272	149.5	258	94.9			
指標名2		メーデーの参加者							
指標説明(式)		参加者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	2000	2000	100.0	2000	100.0	2000	100.0	
	実績	1300	1800	138.5	1800	100.0			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

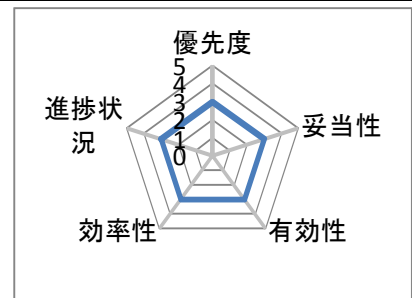
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	労働者福祉活動向上のため、より効率的な活動を望む。	3
効率性	負担割合の適正化	実施団体と市の負担割合について計画的に見直す。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	参加者は概ね前年並みであった	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	参加者は概ね前年並みであったが、新規で企画した事業「退職前セミナー」については、対象者が限定されているため、参加者が少なかった。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	より多くの労働者が参加できる事業を行う。

配点	32.5
総合評価	19.5

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040102020200	事業の種類	4
年度	25	事務事業名	勤労者住宅資金預託事業	予算事業名	勤労者住宅資金融資事業 優先度
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課
施策名(中)		就労環境の充実を図る		担当課長	三宅 淳一
取組み事項		勤労者の生きがいづくりを推進する		担当者名	堤 琢磨
実施計画事業名				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規		相生市勤労者住宅資金融資要綱			
事業の目的	誰のために(具体的に)	勤労者			
	誰(何)を対象として	勤労者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	勤労者に対し、住宅建築又は購入に必要な資金の融資を行うことにより、勤労者の生活環境の改善・整備・生活維持安定による勤労者福祉の向上を図る。			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		市は、取扱金融機関に預託し、取扱金融機関は、預託金の5倍の住宅資金融資を行う。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	預託金	千円	62000	41000	35000	
	融資残高	千円	200317	166919	143765	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.016	0.040	250	0.016	40	0.004	25	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	441,704	615,896	139	440,322	71	356,313	81	
	事業費	62,100,000	41,000,000	66	35,000,000	85	30,000,000	86	
	合計	62,541,704	41,615,896	67	35,440,322	85	30,356,313	86	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	62,541,704	41,615,896	67	35,440,322	85	30,356,313	86	
合計	62,541,704	41,615,896	67	35,440,322	85	30,356,313	86		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		融資件数							
指標説明(式)		件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	2	0	0.0	-	-	-	-	
	実績	0	-	-	-	-	-	-	
指標名2		融資額							
指標説明(式)		額							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	20000	0	0.0	-	-	-	-	
	実績	0	-	-	-	-	-	-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

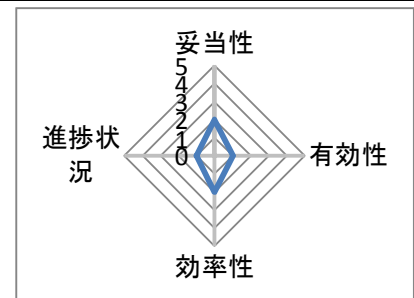
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	市場の住宅貸付金利と大きな差があり、新規利用者がいない。	1
効率性	手段の最適性	利率の引き下げにより、新規利用者の増加を図りたいが、預託金の増額も発生する。	2
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	平成24年度より当分の間新規受付を行わない。	1

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	市場の貸付金利と同等の額になるまで、新規貸付を行わない。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	7

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	040102020300		事業の種類	1		
年度	25	事務事業名	シルバー人材センター育成事業		予算事業名	シルバー人材センター育成事業		
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)		就労環境の充実を図る		担当課長	三宅 淳一		担当者名	桑名 雅彦
取組み事項		勤労者の生きがいをづくりを推進する		実施計画への記載	有		主要事業の指定	無
実施計画事業名		シルバー人材センターワークプラザ建設事業						
根拠法規及び関連法規		高齢者雇用安定法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	高齢者						
	誰(何)を対象として	高齢者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者の生きがいの充実や社会参加のため、就業の機会を提供することにより、福祉の充実と活力ある地域社会づくりに寄与する。						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		相生・上郡広域シルバー人材センター等に補助等を行う。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	運営補助	千円	11000	11000	12934		
	全国シルバー人材センター事業協会賛助会費	千円	50	50	50		
	県シルバー人材センター協会賛助会費	千円	70	70	50		

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.032	0.022	69	0.016	73	0.024	150	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	568,024	476,864	84	440,322	92	516,933	117	
	事業費	11,120,000	10,930,000	98	13,054,000	119	12,364,000	95	
	合計	11,688,024	11,406,864	98	13,494,322	118	12,880,933	95	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	11,688,024	11,406,864	98	13,494,322	118	12,880,933	95	
合計	11,688,024	11,406,864	98	13,494,322	118	12,880,933	95		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		会員数							
指標説明(式)		会員数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	700	700	100.0	700	100.0	700	100.0	
	実績	682	658	96.5	642	97.6			
指標名2		配分金							
指標説明(式)		受託)受取配分金(千円)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
千円	目標	400000	400000	100.0	400000	100.0	400000	100.0	
	実績	361460	357978	99.0	342204	95.6			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	会員数も受取分配金の総額も減少している。	3
効率性	手段の最適性	会員数は微減であるが、適正な運営に努めている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	ほぼ、計画どおりである。	4

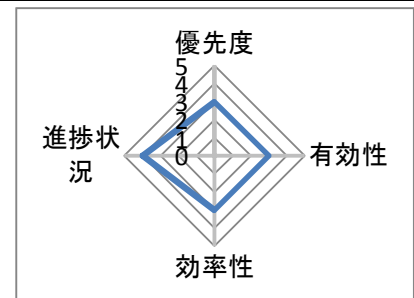
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	企画提案方式の採用により、新規事業に取り組んでいる。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	会員獲得を念頭に置いて事業を行う。



配点	25
総合評価	16